総合	第５学年	東広島市立西条小学校	指導者　平林　明美

単元名

はなマル西条②
－酒造りの秘密を探れ！！－

本単元で育成する資質・能力　課題発見力・追求力・評価力

１　単元のデザイン

本単元の目標

西条の酒造りの繁栄の背景やそれに尽力した人々，酒造りの工程などについて探究することを通して，酒造りに携わる人々の努力や思いへの理解を深めるとともに，地域の伝統や文化を継承していこうとする態度を育てる。

児童について

本校では，西条の伝統的な酒造りを題材にしたオペラ「白壁の街」を 36 年間継承している。オペラ「白壁の街」は，第６学年の全児童が創り上げ，本校児童にとっては憧れである。この取組は第５学年末から始まるため，第５学年後半のこの時期には，「本校の伝統を自分達が継承する」という自己の役割への自覚が一層高まる。しかし，酒造りの工程や人々の努力や思いについて知っている児童は少ない。そこで，本校の伝統継承者としての自覚が高まるこの時期に，オペラの題材であり地域の伝統産業である酒造りへの理解を深め，地域への愛着を深められるよう本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】
- 酒蔵を見学し，疑問や思い等をもつ。
- 今までと違った角度から西条の酒造りを見つめ，価値ある課題を発見する。

【追求力】
- 課題解決への意欲をもち，計画的に情報を集めてまとめる。
- 集めた情報を比較したり関連付けたり，価値付けたりしながら，酒造りの価値，そこに込められた人々の思いを考える。
- 課題解決のために，他者の考えを受け止めながら協力する。

【評価力】
- 酒造りについて，自分の思いや考えの変容，新しく出合った価値観やものの見方等に気付き，学んでいることの価値や自分のよさ，成長を自覚する。
- 地域の伝統・文化である酒造りに親しみ，それを継承し発展させていこうとする心情をもつ。

教材について

西条は，灘，伏見に並ぶ日本有数の酒処である。本校の校区内には酒蔵通りがあり，七つの酒造会社が軒を連ねている。西条の酒造りは江戸時代に始まった。西条四日市として，市が立ち，旅籠，本陣が置かれて山陽道随一の賑わいだったが，西条酒の評判は近在に限られていた。全国に名声が広がることとなったのは，明治中期，安芸津町の三浦仙三郎が生み出した「軟水醸造法」による。さらに，昭和初期には，佐竹利市が高度な精米技術を開発したことにより，西条酒は飛躍的においしくなったと言われる。現在でも，酒造りに適した自然環境の下，昔ながらの伝統的な方法で酒造りを行っており，杜氏や蔵人のたゆまぬ努力により，酒都西条は発展を続けている。

西条の酒造りを扱うことは，地域の伝統や文化の特徴を知ることにつながる。また，酒造りに携わる人々の努力や思いを知り，地域の一員であることを真剣に考えることにもつながると考える。

指導の手立て

本単元では，第６学年で創り上げるオペラ「白壁の街」に生かすという視点で学習を進める。これにより，児童に学習の目的を明確にもたせることができるとともに，酒造りを行う人々の視点に立って西条の酒造りを見つめることができると考える。

小単元①では，６年生のオペラ「白壁の街」のＶＴＲを視聴させ，来年度第 37 代として本校の伝統を継承する自覚を高める。その上で，「オペラに生かす」という視点で追求の価値ある課題を設定させ，多様な方法で情報を集めさせる。この時，西条の酒造りに携わる人々の努力や強い思いを十分に感じ取らせる。その後，研究交流会でグループごとに収集した情報を交流させ，「整理・分析」でそれらの情報を関連付けて西条酒や西条の酒造りのよさを考えさせる。この時，複数の情報を関連付けしやすいよう，クラゲチャートを活用する。また，西条酒を用いた郷土料理である「美酒鍋」について調べさせ，実際に調理して味わうことで，西条酒のよさを実感させる。

小単元②では，オペラ「白壁の街」引継ぎ式を行い，本校の伝統を継承する自覚をさらに高める。そのうえで，オペラの台本を読ませることにより，歌詞や動作の意味が分からないことを自覚させ，自分達のオペラを創り上げていくうえでの価値ある課題を設定させる。「情報の収集」「まとめ・創造・表現」では，小単元①で得た情報を関連付けて表現の工夫を話し合わせる。単元の終末には，ステップチャートを活用し，自分が考える西条酒や西条の酒造りのよさとそれを伝えるオペラへの思いを関連付けて書かせ，本単元の学びや西条の酒造りの価値を再認識させて，来年度のオペラ「白壁の街」につなげる。

2　単元の評価規準

資質・能力		評価規準
課題発見力	対象に心を寄せる	①西条の酒造りに興味をもち，酒蔵を見学して疑問や思いなどをもっている。
	課題を発見する	②「自分達が創り上げるオペラに生かす」という角度から西条の酒造りを見つめ，価値ある課題を設定し，学習計画を立てている。 ③本校の伝統を継承するという自覚をもち，自分達のオペラを創り上げていくうえでの価値ある課題を設定し，学習計画を立てている。
追求力	課題解決に向けて情報を収集する	①酒造りの工程や西条が酒処となった背景，酒造りを行う人々の努力や思いなどについて，様々な方法で調査し，まとめている。
	思いや願いの実現に向けて，思考スキルを用いて課題を解決する	②集めた情報を関連付けて，三大銘醸地と呼ばれる酒造りの背景にある条件や人々の苦労・努力に気付き，西条酒や西条の酒造りの価値を考えている。 ③オペラ「白壁の街」に描かれている情景や人々の思いを，集めた情報と関連付けて想像し，表現の工夫を考えている。
	課題解決のために人とかかわる	④西条の酒造りの秘密を探るために，様々な人々から話を聞き，西条の酒造りについての考えを広げたり深めたりしている。 ⑤自分達のオペラ「白壁の街」を創り上げるために，友達の考えを受け止めながら，表現の工夫について話し合っている。
評価力	自分の学びを振り返る	①西条酒や西条の酒造りに対する自分の思いや考えの変容に気付き，自分の成長や今後の目標を自覚している。
	対象（地域）の良さを自覚する	②西条酒や西条の酒造りの価値を実感し，それを継承し発展させていこうとする心情をもっている。

3　単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 35 時間）

〇酒造りの秘密を探ろう（24）

課題の設定

・オリエンテーションを行い，酒蔵見学でどのようなことを調べればよいのかを話し合う。（１）【課①】
・酒蔵を見学する。（２）【課①】
・見学で知ったこと，疑問に思ったこと，やりたいことを整理し，グループの課題を設定して学習計画を立てる。（２）【課②】

情報の収集

・グループごとの計画を基に，課題解決に向け調査する。（８）【追①④】

独創スピリッツを引き出す工夫

【課題の設定】

・オリエンテーションでは，６年生が酒まつりで演じたオペラのＶＴＲを視聴させたり，オペラの取組開始の予定を知らせたりすることで，本校の伝統を受け継ぐという役割の自覚を高め，単元の学習の目的を明確にもたせる。（課題発見力）
・酒蔵見学を通して知ったこと，疑問に思ったこと，やってみたいことをＫＷＬの表に書き出させ，疑問ややってみたいことを出し合わせ，「自分達のオペラに生かす」という視点で追求の価値がある課題を設定させる。（課題発見力）

【情報の収集】

・インターネットを活用させたり，地域の情報誌やパンフレットなどの資料コーナーを設置したり，酒造会社の見学室の紹介を行ったりし，多様な方法で情報を集めさせる。（追求力）

まとめ・創造・表現

・研究発表会に向けて，グループごとに調べたことを整理する。（５）【追①】

実行

・保護者やこれまでお世話になった方々を招いて研究発表会を開く。（１）【追①④】

整理・分析

・西条酒や西条の酒造りのよさを話し合う。（１）【追②】

本時 20／35

情報の収集

・日本酒の用途やそれを用いる理由を家族に聞く。（家庭学習）
・栄養教諭に日本酒の効用や美酒鍋の歴史，作り方を聞く。（１）【追①④】

実行

・美酒鍋を作って味わう。（２）【追①】

振り返り

・これまでの学習を振り返る。（１）【評①②】

【まとめ・創造・表現】【実行】
・学年での研究発表会を設定することにより，探究活動の目的をもてるようにするとともに，「整理・分析」の活動に向けて，様々な情報を収集させる。（追求力）

【整理・分析】
・複数の情報を関連付けしやすいよう，調査してどのような事柄が分かったのかをグループごとに箇条書きで書き出させる。（追求力）
・集めた情報をクラゲチャートで関連付けさせ，西条酒や西条の酒造りのよさについて考えさせる。（追求力）

【情報の収集】【実行】
・西条の郷土料理である美酒鍋について栄養教諭から話を聞いたり，日本酒を用いた美酒鍋と水だけで作った美酒鍋を食べ比べたりすることにより，西条酒のおいしさを実感させる。（追求力）

【振り返り】
・「課題の設定」で書いたＫＷＬ表の学んだこと（Ｌ）の欄に西条酒や西条の酒造りについての考えを書かせ，自己の考えの変容や成長を自覚させる。（評価力）

○われら第 37 代，伝統を受け継ごう（11）

課題の設定

・オペラ「白壁の街」引継ぎ式を行い，６年生からアドバイスを受ける。（２）【課③】
・よりよいオペラにしていくために，どのようなことを調べ，考えればよいのかを話し合って課題を設定し，学習計画を立てる。（１）【課③】

情報の収集

・オペラの歌詞や動作の意味を調べ，どのように表現すればよいのかをグループで考える。（３）【追③⑤】

まとめ・創造・表現

・グループで考えたことを学級で交流する。（２）【追⑤】

振り返り

・単元の学習を振り返り，オペラ「白壁の街」に向けての思いをまとめる。（１）【評①②】

【課題の設定】
・オペラ「白壁の街」引継ぎ式を行い，６年生から心構えや練習方法などのアドバイスを受けることにより，伝統を継承する自覚をさらに高める。（課題発見力）
・オペラ「白壁の街」の台本を読ませることにより，歌詞や動作の意味が分からないことを自覚させ，自分達のオペラを創り上げていくうえでの価値ある課題を設定させる。（課題発見力）

【情報の収集】【まとめ・創造・表現】
・歌の表す情景や歌詞や動作の意味を台本に書き込ませ，小単元①で得た情報と関連付けて杜氏や蔵人の思いを想像し，表現の工夫を話し合わせる。（追求力）

【振り返り】
・ステップチャートを活用し，自分が考える西条酒や西条の酒造りのよさとそれを伝えるオペラへの思いを関連付けて書かせ，本単元の学びや西条の酒造りの価値を再認識させる。（評価力）

４　本時の目標

これまでに集めた情報を関連付けて，西条酒や西条の酒造りの価値，そこに込められた人々の思いを考えている。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ／	１　前時の研究発表会の感想を交流し，本時の学習課題を設定する。（５分）	全体↓	・数名の児童に，研究発表会の感想を発表させ，西条酒のおいしさや酒造りを行う人々の努力にふれた発言を取り上げ，課題につなげる。
	学習課題　西条酒や西条の酒造りのよさを考えよう。		
深め・拡げる／	２　グループごとに調べて分かったことを確認する。（10 分） 〈三浦仙三郎〉 ・苦労して「軟水醸造法」を開発した。 〈佐竹利市〉 ・日本初の動力精米機を考えた。 〈杜氏や蔵人の仕事〉 ・半年近く蔵に泊まり２時間おきに起きて麹米の状態を確かめるなど苦労と努力の連続。 〈気候〉 ・西条は盆地で，酒造りが行われる冬場の気温が寒すぎず暖かすぎず，しかも日中と夜間の気温差が大きくて酒造りに適している。	全体↓	追求力引き出しポイント ・研究発表会でどのような情報を得たのかを想起させるとともに，複数の情報を関連付けしやすいよう，調査してどのような事柄が分かったのかをグループごとに箇条書きで書き出させる。 ・各グループのワークシートを黒板に貼り，次の活動の手がかりにさせる。
	３　西条酒や西条の酒造りのよさを考える。（25 分） 本気で考える児童の姿 ・西条酒や西条の酒造りのよさを，理由を挙げながら積極的に話し合っている。 ・西条の酒は，おいしい酒です。気候，水，酒米と酒造りにふさわしい条件が揃っているから，西条の酒はおいしいのだと思います。 ・西条の酒は，多くの人々の努力や苦労があってできた酒です。三浦仙三郎も佐竹利市も，長年苦労して「軟水醸造法」や動力精米機を開発しています。また，杜氏や蔵人は，半年近くも蔵に泊まり，２時間おきに起きて麹米の状態を確かめるなど，すごい努力をしています。だから，西条の酒は，多くの人々の努力があってできた酒だと思います。	グループ↓ 全体↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：関連付け〉 ・クラゲチャートを用いて，収集した複数の情報を関連付けることで，西条酒や西条の酒造りのよさを考えさせる。 ◇全国で西条酒が評価されているのはなぜかを問い，クラゲチャートの頭の部分を考えさせた後，クラゲチャートの足の部分（理由・要因）を考えさせる。 ・２～３グループの考えを発表させた後，自分達のグループの考えと比較させて，なるほどと思ったことや理由として付け足すとよいことなどを全体で話し合わせる。
まとめ・つなげる／	４　本時の学習を振り返り，次時につなげる。（５分） おおむね満足できる児童の状況 ・私は，西条の酒はおいしい酒だから，全国で有名なのだと思います。私達のグループは，西条は酒造りに適した気候，水，酒米があるから酒がおいしいのだと考えました。でも，他のグループの考えを聞いて，それだけでなく，杜氏や蔵人の努力や苦労があるからこそ西条の酒がおいしいのだと思いました。	個人↓全体	・西条酒や西条の酒造りのよさについて，グループや全体の話合いをふまえて自分の考えを振り返りカードに書かせる。 ◎集めた情報を関連付けて，三大銘醸地と呼ばれる酒造りの背景にある条件や人々の苦労・努力に気付き，西条酒や西条の酒造りの価値を考えている。（振り返りカード） ・次時からは西条酒を実際に味わってみることを確認する。